

## シラバス (授業計画)

授業科目名	開講学年	必・選	単位数	担当教員名
税法学特論 I	1・2年生	選択	2単位	丹羽 崇之
授業の到達目標及びテーマ 租税法総論について学ぶ。報告、討論及びレポート作成等により、租税法の知識、考え方を身に付ける。				
授業の概要 授業の該当テーマについて、金子宏『租税法〔第22版〕』を精読し、法令・判例等の理解を深める。 各テーマについてかなり速いスピードで授業が進められる。授業1回当たりのボリュームも多いため、相当の準備が不可欠である。				
授業計画 第1回 租税の意義 第2回 租税法の意義と特質 第3回 わが国における租税制度の発達 第4回 租税法の基本原則(1) 租税法律主義 第5回 租税法の基本原則(2) 租税公平主義、自主財政主義 第6回 租税法の法源と効力 第7回 租税法の解釈と適用(1) 租税法の解釈 第8回 租税法の解釈と適用(2) 租税法の適用、租税実体法序説 第9回 課税要件総論(1) 納税義務者 第10回 課税要件総論(2) 課税物件、課税標準、税率 第11回 納税義務の成立・承継及び消滅 第12回 附帯税、納税者の債権 第13回 租税手続法序説、租税確定手続(1) 確定の方式 第14回 租税確定手続(2) 申告納税方式、更正の請求、更正・決定 第15回 租税確定手続(3) 推計課税、賦課課税方式、確定権の除斥期間、質問検査権 第16回 定期試験等				
履修上の留意点、準備学習等(事前・事後学習) 簿記・会計の知識が不可欠である。 憲法、行政法、民法、会社法等の知識が必要である。 各回4～8時間程度の事前・事後学習を求める。				
テキスト 金子宏『租税法〔第22版〕』(弘文堂) 『実務税法六法』(新日本法規出版)または『税務六法』(ぎょうせい) 中里実他編『租税判例百選〔第6版〕』別冊ジュリスト(有斐閣)				
参考書・参考文献・参考資料等 中里実他編『租税法概説〔第3版〕』(有斐閣) 税務大学校講本『税法入門』『国税通則法(基礎編)』 伊藤義一『税法の読み方 判例の見方〔改訂第3版〕』(TKC出版) 宇賀克也・佐伯仁志他編『ポケット六法 平成31年版』(有斐閣)				
成績評価の方法・基準 授業への取り組み(事前・事後の学習、授業での発言等)、提出物等の結果を総合勘案して評価する。				